

## 『令和元年度学校安全指導者養成研修』で講師を務めました(2019/9/9)

テーマ：学校安全、安全教育、指導者養成研修

場所：独立行政法人教職員支援機構（つくば中央研修センター）

2019年9月9日（月）～13日（金）、独立行政法人教職員支援機構主催、文部科学省の共催により、独立行政法人教職員支援機構 つくば中央研修センターにおいて、令和元年度学校安全指導者養成研修が開催されました。都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事、並びにこれに準じる者、さらに、幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の園長、副園長、校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭及び教諭であって、各学校及び地域における本研修の内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者としての活動を行う者等、全国から約160名が参加しました。

本研修の目的は、各地域・学校において児童生徒等の安全の確保が図られるよう、学校安全における三領域（生活安全・交通安全・災害安全）に関し必要な知識等を習得させ、各地域における研修講師等として、1）学校安全に関する諸課題の改善に専門的知見を活用し、組織的な取組を推進する力、2）学校、地域において教職員の専門性向上を推進する力、を発揮し、指導・助言等を行うことのできる指導者の養成を図ることです。

5日間の全日程の内、研修初日の9月9日（月）、佐藤健教授（情報管理・社会連携部門 災害復興実践学分野）が『「災害安全」の現状と課題、発達の段階に応じた効果的な指導と体制整備について』の講義・演習・協議1を担当しました。演習では、校種別のグループワークを通して、総合的な学習の時間を活用した防災教育の単元計画を行いました。



講義の様子

文責：佐藤 健（情報管理・社会連携部門）